

各地で発生するハラスメント

**■ある駅職場で告発!?**  
ある駅の管理者のパワハラ・セクハラに対し、本部に告発文が届く。女性社員の背後に立ち、吐息をかける。勤務時間に買い物。「エリア採用のクズがいくらあがいたってポテンシャルの俺に勝てるわけない」「駅の仕事なんて工場の作業員と同じでクソな仕事しかない」、若手社員の給与明細を見て、「これしかもらってないの?かわいそうだね。こんなのコンビニのバイトじゃん。節約頑張って。」と発言があったと告発

**■ある運輸区の管理者が何喝!?**  
社友会 LINE で過半数代表の決選投票を巡り、立候補をした管理者が「投票に×を投じることは『会社に対して反旗を翻す』ということ」と投稿

**■ある運輸区で社友会への強要!?**  
運転免許交付のお祝会に参加した人たちが管理者から「何故社友会に入らない。どっちつかずでいい顔するな」「指導助役(社友会からの立候補者に)としてお前たちを教えているんだから社員代表選で1票入れろ」と社友会への勧誘と投票を強制

非常に重要な事だと思えます。これから再加入をしていく中で、不安を持っている人はいるけど、組合員が関わらないと加入しようとはならなかったということですね。続いて、なぜ加入を決めたのかについてお聞きします。

**A** 休業指定のタイミングですかね。先ほども話しましたが、社友会は見えない場所じゃないと言われて、労働者としての自分自身を守ってくれるところはどこなんだろうと自分なりに考えました。

**B** 異動してから、管理者とかに不満を持ち始めて、その間ずっと組合員の先輩に不満を打ち明けていて、いつ解雇されるかわからないし、プライベートも仕事も充実していない。ずっと我慢するなら、東労組に戻って声を出そうと思いました。ただ私たちが人数がいなくて勝てないから、人数を増やさないとけないと思います。会社の早すぎる施策に意見を言える芯を持った人をJR東労組にいれば加入させないといけないと思、燃えていました。

**A**さんとBさんは加入するにあたって怖さはありましたか?

**A** 怖さはなかったですけど、妻は気にしていました。18春闘でトップニュースになった組織に入るのは大丈夫なのって話された。でも自分が間違っていない道を進みたいと思ってるので、妻には話を聞いて、自分自身がいいと思ってるならいいんじゃないかなって思っていました。

以前勤めてた飲料メーカーでは言えなかった。本当に奴隷のような感じだった。管理者が本当に怖かった。厳しくて、逆らうなんてとてもじゃないができませんでした。なので、その時の自分から考えを変えてよかったです。一人じゃ言えない。でも、一緒に声を出す仲間がいるから言えるんじゃないかなって感じます。

**B** 怖さが3割、わくわくが7割ぐらいの気持ちでした。妻も賛成してくれました。職場の他の社員からも不満を聞いていて、今の立場では何もできないと思っていたので、絶対0から1名をやらないといけないので、その道筋を作るという意味でも、自分やるといって、たしかに怖いと言えは怖かったけれど、期待の方が大きかったです。

**組織拡大に奮闘する仲間へメッセージをお願いします。**

**A** ただ数がいたという組織に戻ってもらいたくないです。やっぱり本人にしっかり考えてもらった中で加入を促してもらいたいというのがあります。すごい大変だと思います。思うように進まない部分もあると思うんですけど、その人の本心の部分を聞いて

てしっかり加入させる。時間がかかってもそういう活動をしてもらいたいと思います。自分もそういう形です。やっています。

**B** 粘り強くやるしかないと思います。粘り強くやる一方では強制がないようにしてもらいたいです。私にしたいだけのようにやっていたら入ってこれる方は増えると思うので。あとは全く組合を知らない世代の人たちもいるので、そこに対しては色々考えないといけないと思うので、私も含めて取り組んでいけたらと思います。

**A**さんとBさんに関わった方にもお聞きします。関わったきっかけと教訓をお願いします。

**C** 自分が関わったのはBさんです。自分一人では限界があった。他の組合員も入れて3人で集まるようにしていました。連車職場でよく、対象者がいないと聞かなくて、そう言う場合じゃないと思っています。自分の中でこの人を組合に戻して一緒に活動したいと思う人が絶対にいると思うので、その方と関わりを断ってほしくない。JR東労組の重要性を説いていって、そこから本人の気持ちをしっかり聞いて、一回で駄目と思わず、時間がかかるのは当たり前だと思って、再加入に繋げていくことが必要です。

**D** Aさんと関わりをつくって来ました。Aさんと話をしている間に彼自身の生き方とかを聞いて、他の仲間と一緒に加入させたいと思えました。彼と行動を共にし、自身で社友会に興味がないと気づいてくれました。本人の話や思いを聞きもせずに再加入は難しいと言いますが、まず話を聞いて、そこに対して自分が行動して、それを繰り返していくことが重要です。そして、最終的に加入させる時の自分の怖さを乗り越えていかないと本人たちはそれ以上に怖いはず。そこを自分でどうするかというのをやってもらいたいです。

**未加入者に向けてのメッセージをお願いします。**

**A** もっと考えてもらいたいですね。将来的にJR東日本は前職の飲料メーカーみたいになるかもしれない。前職の現場は全く別の会社になっています。うちの会社でいうと、例えばポテンシャル採用だけすごい小さな会社として本体に残って、乗務員は乗務員で新たな会社、駅はJES、そういう形になっていくような気がします。そうなる雇用に関して難しいなって思っているんじゃないかと思うので、本当に将来をいい方向に持っていか、子供たちが苦労しないためにも俺らが頑張らないといけないというのを今みんなに考えてもらいたいですね。

**B** この先ずっと働ける会社ですかと問いかけたんです。今が満足なら構わないですけど、このまま会社が突っ走ると危ないと思



JR東労組は18春闘を反省し、職場での実践を積み重ね、これまで140名以上の組織拡大を成し遂げてきました。

最後に自分にとってのJR東労組の必要性は何か教えてください。

**A** 組合という立場の中で、労働者を守ってもらえる組織だと思っています。あとは、やっぱり間違っていることは間違っている。しっかりと伝える組織であってほしいと思います。それと、加入者に対する会社からの不当労働行為は絶対に許せません。しっかりと組合としてもおかしいと声を上げてもらいたいと思います。  
**B** 組合は、今後の自分の未来を築いていくための組織だと思っています。今まで社友会に所属して出来なかったことが、これから声を上げて皆さんと一緒に改善できるかもしれない。ただ、黙っているよりは絶対いいと思います。

さきほどAさんが言われていたように、加入者に対する不当労働行為は今後も発生すると思うので、これから戻ってきてくれる人に対して、私も含めて守っていかないとけないし、今後組織をどんどん強くしていきます。  
\*編集の都合で一部内容を変更しています。  
(文責: 情宣部)